

放課後等デイサービス 自己評価表

評価期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

評価者：うめっこスポーツ職員 3名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	3			活動スペースが十分に確保されており、安全に留意して行っています。また、子どもたちが視覚的にわかりやすいように、色別のテープを使用して分けをしています。
②	職員の配置数は適切であるか	3			法令で必要とされている配置数となっております。また、同じ福祉会のうめっこリズムと協力をし、お子様の成長に寄り添えるように努めています。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1		利用対象児童の個々の特性に合わせて、ケガや事故がないよう考慮した環境設定をしています。また、飛び出しが無いよう入り口が狭くなっている等の障害があります。
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3			コンサルタントに助言を頂きながら業務改善に努めております。また朝礼や処遇会議等で、で振り返りを行い、お子様の成長を共有しながら、新たな課題・目標設定を設定しています。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	3			年末に保護者アンケートを実施し、保護者様からの要望にお応えできるように努めています。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			この自己評価の結果をHPにて公開し、発信していきます。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3	今年度は第三者機関による評価は行っていません。
⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	3			法人全体の職員研修を毎月2回受講しております。
⑨	アセスメントを適切に行い、子ど	3			今年度は年2回の面談を行いました。

		もと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか				ご家庭・学校での様子からの聞き取りから保護者や子どものニーズに沿った計画を作成し支援を行いました。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			療育プログラムに合わせた標準化された事業所統一のアセスメントツールを活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			管理者を中心に振り返りを行いながら定期的に課題の立案を練っています。また、未就学の療育ではうめっこリズムの職員と合同での会議で定期的に支援内容について検討しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			小学生の療育主軸は変わりませんが、毎月課題の見直しや教材の検討を行い、利用児童の状況に応じて課題を変化させています。 また、子どもたちの意欲が下がらないように目標を持って取り組めるような工夫も施しています。 未就学の療育についても、職員同士で話し合い子どもたちの成長に合わせた内容で展開できるようにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3			昨年度に引き続き、平日や学校休業日等の利用状況に応じて 時間割を変更しています。 また、曜日毎の利用児童と集団に応じて課題を設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			曜日、人数、児童の状況に応じて個別計画をもとに、大集団・小集団・個別の対応をしています。個別のお子さんは最終的には大集団に参加が出来ることを目標として療育を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1		朝礼で申し合わせを行っております。会議等の関係で朝礼が行えない場合は、少ない時間でも療育前に時間を作っております。また、ボードに担当を張り出し、各自が役割を確認できるようにしています。必ずという箇所に現在課題がある為、時間の

						使い方を工夫し毎回打ち合わせが出来るように努めて参ります。
	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1		勤務時間の関係で全員参加が難しいですが、残りの職員で振り返りを行っています。また、翌日朝礼にて再度全員で振り返りを行い、児童の様子や配慮事項、支援の内容を職員間で共有しています。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			毎日、施設日誌や個別日報を記録しています。特別事項については処遇会議などで共有し、支援内容について検討し必要であれば見直し・改善を行っています。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			小学生の日課・未就学の療育については、職員全員で見直しの必要性の判断をしています。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3			ガイドラインは個人ごとに理解をしております。職員全員での読み合わせを定期的に行い、より共通認識を深められるようにしてまいります。そして、全職員が同じ方向を向いて療育に取り掛かれるよう努めてまいります。
	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加しているか	3			担当会議には、開催前に、該当のお子さんについての日々の様子について職員間で情報交換・振り返りを行い管理者が出席しています。
	⑮	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3			年度初めに年間計画や毎月の下校時刻表を頂いております。また、学校での怪我等の情報伝達をその都度行っています。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			3	現時点で医療的ケアが必要な児童の受け入れ事例はありません。ですが、契約時に主治医の連絡先の確認を行う等の体制は整えています。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			保護者の了解を得た上で 関係各所との情報共有を行っている事例もあります。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサー			3	現時点で障害福祉サービス事業所へ

		ビス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				移行した事例はありません。 今後、情報提供が必要なケースがある場合は、適切に行います。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			3	今年度は研修を受講する機会はありませんでしたが、特別支援学校の先生に講師として来て頂きました。研修で知り得た知識を日々の療育の場で適切に活用できるよう努めて参ります。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3			当事業所では療育トレーニングに特化している為、そのような機会は設けておりませんが、特別プログラムとして近隣の小学生の方も参加出来るイベントを実施しました。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			3	昨年度に引き続き今年度も参加はありませんでした。開催の連絡があった時は、管理者が参加します。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	3			保護者様との面談を年2回実施いたしました。年度末の保護者アンケートでは、「もっと相談に対応して欲しい」との要望もありました。事業所側からも個別にお声を掛けさせて頂きたいと思っております。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	3			ペアレントトレーニングを企画して行っていないですが、面談で保護者の方からいただいたお悩みに対して相談支援や発達に対する助言等を行っております。
	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			契約の際に時間を設けて、読み合わせ及び重要事項の説明をさせて頂いております。また、ご不明な点がある場合はその都度、対応をしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			気になることや悩みについては、コードモンや電話、または適宜面談を行って解決に向け連携しています。 まだまだ課題となっている点ですが、保護者様が安心してお子様の成長を見守れるように来年度も面談等行っていきますので、些細なことでもお声掛けできる環境づくりに努めて参ります。

③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3			今年度は成長発表会で保護者の方にお集まりいただきました。 また、保護者の方同士での意見交換が出来る懇談会等の開催を検討します。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			苦情やご意見に対しては、管理者からすぐに責任者へ報告し、迅速に対応、職員間での共有をしています。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			SNS(自社 HP/インスタグラム)での活動報告、毎月の「うめっこ通信」の配布を行うことで、情報を発信しています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	3			利用児童の個人情報の使用に注意を払い、事業所外への持ち出しには十分配慮しています。また、個人情報が記載された書類の渡し間違い等がないよう注意して参ります。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			コドモンでの一斉送信の連絡だけでなく、送迎時に直接確認をする等、各ご家庭に合わせてお知らせをしています。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3			今年度は特別企画の「縄とび教室」「かけっこ教室」など児童向けのイベントや、「事業所向けの説明会」などを実施しました。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3			自社 HP や事業所の入り口付近へ掲示しています。また、職員自身も定期的に見返すことで、もしもの際に適切な対応が出来るようにしていきます。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			併設するこども園の避難訓練に参加をし、実践的に参加をしていきました。
④⑩	虐待を防止するための職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			今年度は福社会全体で議題としてあげ、研修を2回実施しました。また普段の療育の振り返りで、虐待と見られる行為が行われていないか職員間で議論し、防止に努めています。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	3			契約時、契約書の書面にて説明し、保護者の方に同意を頂いています。

		に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				事業所の職員に関しても、身体的虐待の身体的拘束についての定義について、理解を深められるように努めます。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			3	食事の提供は行っておりません。 また、契約時に食物アレルギーの有無と原因となり得る食べ物の申告をお願いしています。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			ヒヤリハットは、すぐに管理者へ報告します。職員は、報告書の作成提出をし、その日のうちに職員間で周知をしています。小さなヒヤリハットから大きな事故に結びつかないように予防しています。